

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1053	(H.24)No.	1053
-----------	------	-----------	------

事務事業名		障害者就労支援事業費	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
健康福祉部	高齢・障害支援室	山田 喜弘	63-7591
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施 策	2	障害者福祉
	小 施 策	1	社会参加と交流・啓発の促進
	重点施策コード	1-5.高齢者・障害者福祉の推進(障害者福祉の充実)	

2. 予算区分

会計区分	事業コード	168020
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 民生費	障害者福祉費	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 障害者福祉費	障害者就労支援事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
障害者の就労支援のため、職親として障害者を受け入れた事業所に対し日額1,000円の助成を行う。	

めざす効果(事業目的)
障害者福祉の向上

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 利用者:0人	[事業内容(事業量)・事業費] 利用者:6人
直接事業費	0千円	420千円
財源内訳(千円)		
国庫支出金		
県支出金		
地方債		
その他()		
一般財源	(0) 0	420
人工数		
職員	0.14人	0.14人
臨時職員等	0.05人	0.05人
概算人件費	(0千円) 1,107千円	1,107千円
+ 総事業費	(0千円) 1,107千円	1,527千円

現在の実施手法(複数選択可)		
市が直接実施		
業務委託(全部・一部)により実施		
指定管理		
補助金・交付金		
その他 ()		
平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
利用者:6人	利用者:6人	利用者:6人
420千円	420千円	420千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	一般就労への移行に向けて支援を行った障害者数(延べ値)	-	-	-	-	20
	実績		4	5	6	1	
成果指標	目標	障害者に対する住民の理解が進んでいるとする市民の割合	-	-	-	-	-
	実績		51.5	54.3	57.2	58	
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
障害者のニーズはあっても受け皿が不足しているため就労に結びつけることができなかった。	関係機関との連携

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
法律、制度改正への的確な対応が求められる。	障害者雇用の拡大

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	関係機関との連携
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	関係機関との連携
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	関係機関との連携
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	関係機関との連携

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載
障害者の就労体験のための受け入れ先、確保のためには事業の継続が不可欠である

特記事項

--